

総務省のオンライン診療に関する取組

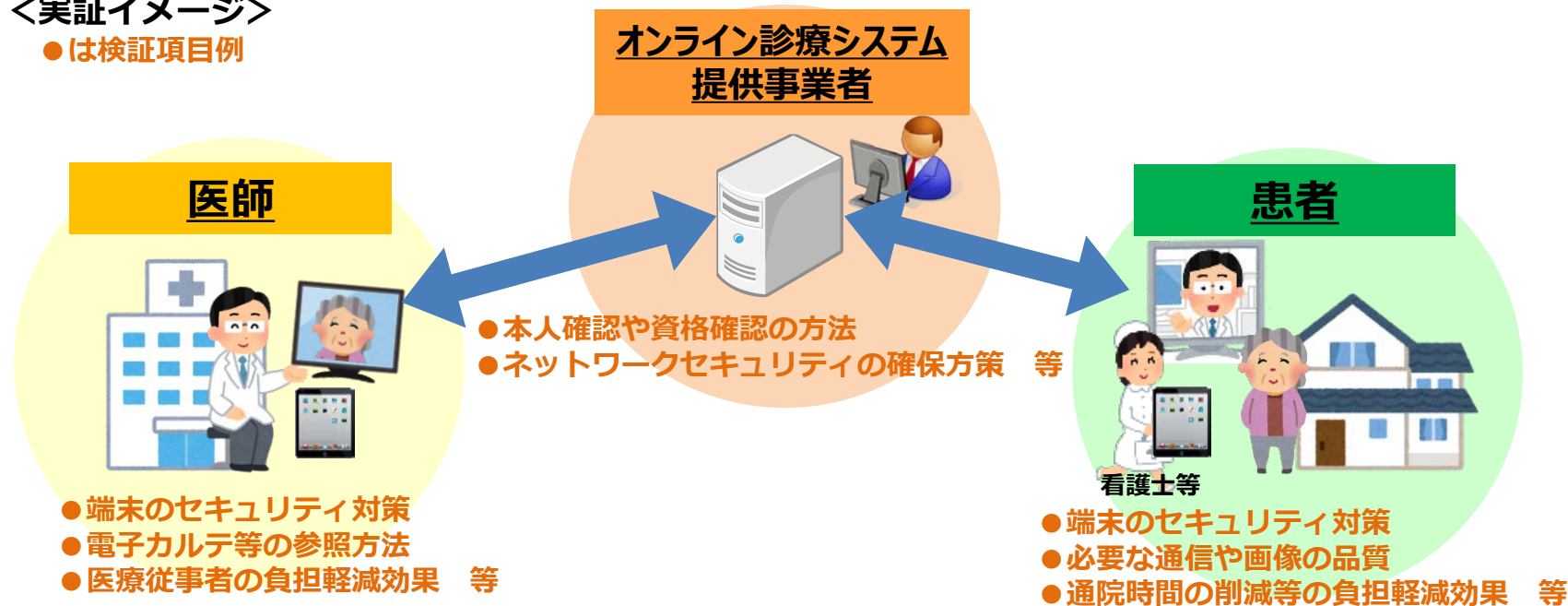
平成30年10月29日
総務省

オンライン診療モデルの構築に向けた実証（H30）

- 平成30年3月30日に厚生労働省が公表した「オンライン診療の適切な実施に関する指針」や平成30年4月からの診療報酬の新設等によりオンライン診療の普及が見込まれる中、**主に技術的な観点から、安全かつ効果的なオンライン診療実施モデルを構築するための実証**を実施。
- 実証の成果を上記指針や医療情報安全管理関連ガイドライン等の**関連ガイドラインの改定に反映**するとともに、「遠隔医療モデル参考書」（平成23年3月総務省策定・公表）の改定を通じ、オンライン診療を実施しようとする者に**参照可能なモデルを示す**ことにより、**オンライン診療の安全で適切な普及を推進**。

<実証イメージ>

● は検証項目例



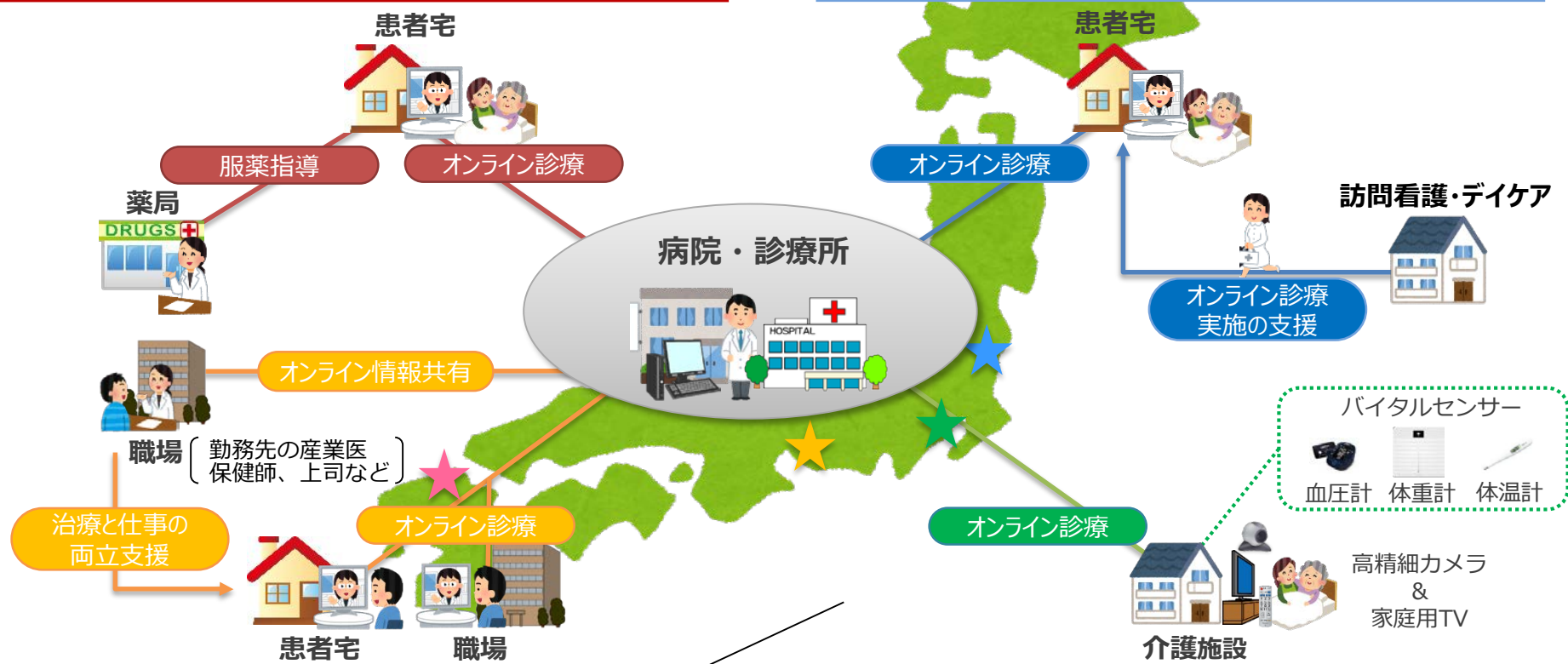
- ・ 地域の特性（都市、地方）及び対象とする患者の状況（通院困難、慢性疾患等）について、異なるモデルを有する **4箇所のフィールドで実証**
- ・ 医師、患者等の協力を得て、オンライン診療の**導入プロセス**（体制、規程、システム選定等）や**実施手順**（システム動作確認、本人確認、記録方法等）等を**明確化**

オンライン診療モデルの構築に向けた実証（H30）

● 異なる性質を有する4フィールド（①福岡県福岡市、②茨城県つくば市、③愛知県名古屋市、④神奈川県藤沢市）で実証を行い、各フィールド特有のモデルの検証を実施する。

①都市型実証【福岡県福岡市（都市部）】
オンライン診療の適用となる主要パターンを網羅的に洗い出し、診療から処方、服薬指導までの一連のプロセスの実証を実施(一部患者においては、特区での遠隔服薬指導も実施)

②DtoCtoPモデル型実証【茨城県つくば市（地方部）】
通院を要するが交通手段の問題から定期受診が困難な患者、自宅での療養が求められる患者を対象に、地域包括ケアの構築に貢献するDtoCtoPモデルの検証を実施



③職域連携型実証【愛知県名古屋市（都市部）】
生活習慣病の慢性疾患管理が必要な患者（勤労者）を対象に、職場との連携による、仕事と治療の両立に資するオンライン診療モデルの検証を実施

④施設型実証【神奈川県藤沢市（地方部）】
介護施設において療養を行っている患者を対象に、家庭用TVやIoT機器等を活用した、施設型の遠隔在宅診療モデルの検証を実施